

教科名  
総合的な学習の時間

大竹市立大竹中学校  
第2学年

指導者 大原 厚彦 室下 慎太郎  
隅田 千尋 香川 尚子  
八木 幸樹 子川 朝子

単元名 10年後、大竹市は中国・四国地方で1位になる！

本単元で育成する資質・能力 主体性 思考力・判断力・表現力

- 1 日時 令和3年11月4日（木） 5校時
- 2 学年 第2学年（男子53名、女子50名 計103名）
- 3 場所 大竹市立大竹中学校 体育館
- 4 単元名 「10年後、大竹市は中国・四国地方で1位になる！」

#### 5 単元について

##### <単元観>

本学年の総合的な学習の時間のテーマは「『支える』～職場体験学習・修学旅行に学ぶ生き方～」とし、第2学年の探究課題の1つを「10年後、大竹市は中国・四国地方で1位になるにはどうしたらいいだろうか」と設定した。本学年は11月中旬に修学旅行で四国地方（愛媛県、香川県、徳島県）を訪れる予定である。この修学旅行を学校行事として行うだけではなく、探究課題を解決するためのきっかけづくりとして行うことができるよう、修学旅行と関連付けた単元である。

まず、大竹市が中学生の修学旅行先として選ばれていないという課題を提示し、生徒に中国・四国地方の様々なランキングの中から、大竹市が1位であるランキングが存在しないことに気付かせる。中国・四国地方のランキングの中から、「このランキングなら大竹市が1位になるのではないか」と思うものを見つけ、上位5位までに入っているものの情報収集を行う。この際、何故ランクインしているのかを根拠となる理由を明確にし、説明できるように考えさせる。その後、大竹市が1位になるために必要なことを考え、仲間と批評し合うことで、考えを深めていく。最終的に、自分たちの企画案をどうすることが大竹市のためになるのかを考え、実行することを目標としている。その中で、郷土愛を育むとともに、答えのない課題に対して主体的に探究する態度を育成していきたい。

##### <生徒観>

本学年の生徒は、1年次に「ふるさと大竹・福祉体験学習から、人と人のつながりについて考える」をテーマに、自分たちの住む大竹市について、歴史的建造物の探訪をしたり、地域の方から歴史について聞いたりして、個人でパンフレットを作ってまとめる活動を通して大竹市の歴史について学習した。

前単元では、探究課題を「大竹市の健康寿命を100歳にするにはどうしたらよいか」とし、健康寿命を延ばすだけでなく、“大竹市で”健康寿命を延ばすためにインターネットで情報を収集したり、外部の方へインタビューを行ったりする活動等を通して、答えのない問いに対して、身に付けた知識・技能を活用して、多面的に調べ、主体的に探究する力を育成してきた。その際、健康寿命100歳にこだわり、大竹市ならではの案を考えることができなかつたり、目的意識が薄かつたりして、主体的に探究活動に取り組めていないという課題が挙げられた。また、発表する際に相手や目的に応じて、わかりやすい資料をまとめ、表現することに課題があり、情報収集後の整理・分析ができていないために、情報を理解できていないまま発表する生徒もいた。

本学年の生徒は、大竹市が修学旅行先には選ばれていないという事実に対して、「納得である」が97%、「不満である」3%であり、廿日市市の巖島神社、岩国市の錦帯橋の間にあるにもかかわらず、大竹市が修学旅行先として値しないということに、ほとんどの生徒が納得している。また、中国・四国地方で大竹市が1位であるものを知っているかという質問で肯定的回答をした生徒はいなかった。

<指導観>

自分たちの住んでいる大竹市の将来という身近で、必然性のあるテーマにすることで生徒が主体的に探究できるよう、課題を仕組む。また、課題に対しての答えを見つける際に、収集した情報が課題解決につながるかどうか、理解できているかをグループで話し合い、仲間とお互いに批評し合う活動を繰り返すことで根拠や理由を明確にし、説得力のある考えにしていく。

また、自分の住んでいる町が抱えている問題を自分の事として捉え、社会に還元することで、自分が社会の役に立っているという体験をさせ、自己有用感を高めていき、大竹市の魅力を誇れるようにする。

## 6 単元の見目標

○大竹市を中心に、中国・四国地方について調査し、大竹市がさらに魅力ある街になるように主体的に考え、自分たちが今できることを実行することができる。

○10年後の大竹市がより魅力的になるように考えることで、郷土に誇りを持つことができる。

## 7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①修学旅行先である三県を中心に中国・四国地方に様々な魅力があることを理解している。</p> <p>②修学旅行先である三県を中心に、中国・四国地方の魅力を知るための調査を、対象に応じて適切な方法で実施している。</p> <p>③10年後の大竹市が中国・四国地方のランキングで1位になるための考えは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。</p>	<p>①広島県内で修学旅行先に大竹市が選ばれていないという問題を明らかにし、大竹市がより魅力的な街になるための解決への見通しをもって計画している。【課題の設定】</p> <p>②多様な方法の中から効果的な手段を選択し、修学旅行先である三県の魅力や大竹市の問題点を把握するために必要な情報を収集している。【情報の収集】</p> <p>③10年後、大竹市がより魅力的な街になるために必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら解決に向けて考えている。【整理・分析】</p> <p>④伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。【まとめ・表現】</p>	<p>① 調査活動の振り返りを通して、自分の考えを試行錯誤し、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。</p> <p>②自他の考えを尊重しながら、協働して、課題解決に取り組んでいる。</p> <p>③地域の問題に自分のこととして取り組んでいる。</p>

## 8 単元のルーブリック

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
①	A 修学旅行先である三県を中心に、中国・四国地方には様々な魅力があることを理解しており、大竹市の現状と比較し、大竹市がより魅力的になる	①	A 広島県内で修学旅行先に大竹市が選ばれていないという問題を明らかにし、大竹市が10年後に中国・四国地方で1位になれるものを解決への見	①	A 調査活動の振り返りを通して、自分の考えを試行錯誤し、他者の考えを尊重しながら、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。

		ように考えている。			通しをもって計画をし、解決の方法や手順を考えている。		
	B	修学旅行先である三県を中心に、中国・四国地方には様々な魅力があり、修学旅行先として選ばれる理由があることを理解している。		B	広島県内で修学旅行先に大竹市が選ばれていないという問題を明らかにし、解決への見通しをもって計画している。		B 調査活動の振り返りを通して、自分の考えを試行錯誤し、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。
②	A	修学旅行先である三県を中心に中国・四国地方の魅力を知るための調査を、目的や場面に応じて、対象に応じて適切な方法で実施し、正しい情報を入手している。	②	A	修学旅行先である三県を中心に中国・四国地方の魅力や大竹市の問題点を把握するために必要な情報について、多様な方法の中から効果的な手段を選択し、テーマに合わせて情報を蓄積させている。	②	A 自他の考えを尊重し、お互いの考えを批評しながら、協働して、課題解決に取り組んでいる。
	B	修学旅行先である三県の魅力を知るための調査を、対象に応じて適切な方法で実施している。		B	修学旅行先である三県の魅力や大竹市の問題点を把握するために必要な情報について、多様な方法の中から効果的な手段を選択している。		B 自他の考えを尊重しながら、協働して、課題解決に取り組んでいる。
②	A	中国・四国地方のランキングで1位になる理由の理解と、大竹市を1位にするためにアピールしようとする意欲の高まりは、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	③	A	10年後に大竹市が中国・四国地方のランキングで1位になるために必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら、根拠と理由を持って、解決に向けて考えている。	③	A 地域の問題に自分のこととして取り組み、自分ができることを考えている。
	B	中国・四国地方のランキングにランクインしているものとランクインしていない大竹市についての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。		B	修学旅行で大竹市を訪れてもらうために必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係づけたりしながら解決に向けて考えている。		B 地域の問題に自分のこととして取り組んでいる。
			④	A	伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現していて、相手の意見を受け入れている。		
				B	伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。		

9 単元の全体計画 (全18時間 10/18 本時)

次	学習内容	評価			
		知・技	思・判・	主体的	
1	<b>1 &lt;課題の設定①&gt;</b> ○中学生の修学旅行先として大竹市が選ばれていないという課題を発見する。10年後に、中国・四国地方のランキングで大竹市が1位になるために大竹市ができることを考える。(1時間)		①	①	○大竹市の課題について自分のこととして考え、大竹市の活性化のためにできることについて、見通しを持って取り組もうとしている。 ○中国・四国地方の魅力に目を向け、大竹市と比較しようとしている。 (発言・ワークシート)
	<b>2 &lt;情報の収集①&gt;</b> ○中国・四国地方についての様々な分野でのランキングの情報収集を行う。(2時間) 考えられるランキングテーマ 工場夜景, 住みやすさ, お土産…			②	○様々な分野の中国・四国地方のランキングについて考え、調べようとしている。 (行動・ワークシート)
	<b>3 &lt;整理・分析①&gt;</b> ○中国・四国地方のランキング上位に入っているものの根拠や理由を明確にしながらから分析する。(2時間)	①			○中国・四国地方のランキング上位5位に選ばれたものを根拠や理由を明確にしながらから考えようとしている。 (行動・ワークシート)
	○10年後、中国・四国地方のランキングで大竹市のものが入るように、大竹市の情報を整理する。(2時間)			③	○今までの学習を振り返り、中国・四国地方のランキングで大竹市のものをランクインさせるために考え、調べようとしている。 (行動・ワークシート)
	<b>4 &lt;まとめ・表現①&gt;</b> ○中国・四国地方のランキングの分析結果をパワーポイントにまとめる。(2時間)			④	○聞き手に伝わるように、根拠や理由を明確にした分析結果をパワーポイントにまとめることができる。 (パワーポイントプレゼン資料)
2	○10年後、中国・四国地方のランキングで大竹市が1位になるためにはどうしたらいいのかを伝え、仲間と批評し合う。(1時間)		④	②	○伝える相手に根拠や理由をもとにわかりやすく説明し、表現している。 ○仲間の考えに対して、根拠や理由を明確にしながらから批評し、協働して課題解決しようとしている。 (発言・ワークシート)
	修学旅行				
	<b>5 &lt;情報の収集②&gt;</b> ○実際に修学旅行に行き、実際に見たり、体験したりして、各地域の魅力について情報を整理する。(2時間)	②			○実際に修学旅行に行き、修学旅行先としての魅力を考えることができる。 (発言・ワークシート)
	<b>6 &lt;整理・分析②&gt;</b> ○修学旅行を振り返り、大竹市が1位になるために必要なものを再分析する。(2時間)			③	○修学旅行先の魅力と比較しながら、大竹市が1位になるために、情報をもとに再度分析することができる。 (リフレクションシート)
	<b>7 &lt;整理・分析②&gt;</b> ○分析結果を振り返り、10年後の大竹市			③	○分析結果から、大竹市のために自分たちができることを考えることができる。

	がより魅力的になるために、今自分ができることを考える。(2時間)			
	<b>8 &lt;まとめ・表現②&gt;</b> ○現在のランキングと10年後のランキングを作成し、大竹市が10年後1位になるために今必要なことを実行する。(2時間)	③	④	③
				○10年後の大竹市がより魅力的になるための考え方の変化や自分の成長について振り返っている。 ○伝える相手のことを考えて、わかりやすく表現している。 ○10年後、大竹市が中国・四国地方で1位になるために、どうしたらいいのかを根拠や理由を明確にし、地域に還元しようとしている。 (リフレクションシート・プレゼン資料)

### 10 単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

資質・能力	目指す生徒像
主体性	課題解決に向けた行動を起こしたことで、自分や社会のよさや可能性に気づき、次の課題・解決に向かうことができる。
思考力・判断力・表現力	関連付けられた学びを、自分の生活や社会のために実行したことについて、感想や気づきをまとめ、次の学びにつなげることができる。

### 11 本時の展開

<b>&lt;本時の目標&gt;</b> 10年後、大竹市が中国・四国地方で1位になるための考えをより説得力のあるものに行うことができる。
--

<b>&lt;ゴールイメージ&gt;</b> 10年後の大竹市をより魅力的なものにするための具体案を仲間と批評し合い、よりよい考えに行うことができる。
--

	学 習 活 動	指導上の留意事項 ★配慮を要する個への支援	評価規準 (評価方法)
見通しを持つ	1. 学習内容の確認 探究課題を確認する。 ・中学生の修学旅行先として大竹市が選ばれていないこと ・中国・四国地方の様々なランキングの中に大竹市が1位というものがないこと	○導入時の課題を確認することで、発表への意欲を高めさせる。	
自分の考えをもつ・考えを交流する	<b>10年後、大竹市が中国・四国地方で1位になるための考えのヒントを仲間から得ることができる。</b> 2. 仮説発表(タブレット使用, 1人5分) (学年で7人前後のグループを13作る。) ①仮説を発表する。 <1人2分程度> ②質疑応答, 批評 <1人につき2分程度> カードに“よいところ”と”改善点”を記入し, 発表者に渡す。	○グループでの発表がよりよいものとなるよう発表の仕方を指導する。 ★ICT機器を使用する際に困っている生徒がいれば支援する。 ○仮説内容がより現実的なものになるよう, プレゼンの仕方, パワーポイントの技術ではなく, 内容についての改善点を書くように指導する。 ★書くことに困っている生徒がいれば,	<b>【思・判・表】</b> ○伝える相手や目的に応じて, 自分の考えをまとめ, 適切な方法で表現している。 (発表・ワークシート) <b>【主】</b> ○他者の考えを尊重しながら, 協働して,

	<p>グループ内でローテーションし、①, ②を繰り返す。</p> <p>中には、現実的ではないものも含まれる可能性がある（遊園地をつくる、大竹出身の有名人を輩出する等…）が、“10年後”ということの可能性を持たせる。</p> <p>&lt;担当ブース&gt;          ブース①, ②, ⑬ 八木 ③, ④ 香川          ブース⑤, ⑥ 室下 ⑦, ⑧ 隅田          ブース⑨, ⑩子川 ⑪, ⑫大原</p>	<p>内容を一緒に確認し、改善点を考える手助けをする。</p>	<p>課題解決に取り組んでいる。 (発言・ワークシート)</p>
<p>振り返る</p>	<p>3. 振り返りと自己評価 ・リフレクションシートに記入する。</p> <p>4. まとめ</p>	<p>○発表を通しての振り返りをリフレクションシートに記入させる。</p> <p>○再来週の修学旅行で、四国地方が修学旅行先として選ばれている理由を見つけられるよう意欲を高める。</p>	<p>リフレクションシート</p>

<準備物>

テレビ, タブレット (1人1台), いす, 机, ワークシート, タイマー

<会場図 (体育館) >

